

大型トラックはみ出し、大型トラックと正面衝突 運転手の男性1人死亡

[2015/1/8 15:46]

8日午前2時40分頃、鳥取県の国道で、大型トラック同士が衝突する事故があり、40歳の男性が死亡。センターラインをはみ出した大型トラックが、対向車線を走っていた大型トラックと衝突。

“ぼんやり”は、事故のもと、緊張感をもって！

この時期の交通事故の主な特徴

- ①冬道の慣れなどから警戒心が低下し、「こんなにすべるとは思わなかった」など、交差点付近で追突事故が急増
- ②天候不良、渋滞等の遅れで起きる、「いそぎ」、「あせり」の気持ちから、思わぬ事故が発生
- ③交差点付近は、雪山で見通しも悪くなり、出会い頭の衝突や歩行者との事故が多く発生

荷台からの転落、手足の挟まれ事故に注意！

夕方からの積卸作業時は、ヘルメット・ライトを使用すること

バック時は 降りて確認 乗っても確認

2時間ごとに、15分休憩！

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は、車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

吹雪で視界不良 5台玉突き4人けが

(2015/01/07 13:12)

7日午前8時15分ごろ、青森県の東北自動車道で、トラックや乗用車計5台が絡む玉突き事故があった。県警高速隊や消防によると、4人がけがをした。いずれも意識はあり、命に別条はないという。東日本高速道路によると、当時は吹雪で視界不良の状態だった。

置戸 凍結道路でバス横転 2人軽傷

2015年1月7日 12時15分

7日午前10時半ごろ、置戸町でマイクロバスが横転し、2人が軽いけがをしました。現場の路面は凍結していたということで、警察が事故の原因を調べています。消防によりますと、バスには乗客と運転手の13人が乗っていて、このうち乗客2人が腰や頭などを打って病院に運ばれましたが、いずれもけがの程度は軽いということです。

路面凍結、スリップ 高速バスと車衝突、5人死傷

(2015/01/01 22:25)

1日午前9時10分ごろ、広島県の国道で、近くに住む市消防署の消防士長（33）の乗用車と、対向車線の高速バスが衝突。車は大破し、消防士長は病院に運ばれたが、頭を強く打ち間もなく死亡した。バスは前部を破損し、道路横に横転。運転手の男性（59）と乗客の男性（61）が重傷、63歳と42歳の2人が軽傷を負った。警察によると、現場は片側1車線の緩やかなカーブ。周辺に雪が積もり、路面が凍結していたといい、どちらかがスリップ事故を起こした可能性があるともみて詳しく調べる。

バスが雪でスリップ？電柱に衝突、10人けが

2015年1月1日（木）23時21分

1日午後5時45分頃、富山県の県道で、観光バス運行会社のマイクロバスが道路左側の電柱に衝突した。バスには3家族の男女計11人の乗客がおり、このうち10人が頭や胸などを打って病院に運ばれたが、いずれも軽傷。運転手の男性（68）にけがはなかった。警察の発表によると、事故当時、道路には雪が積もっていた。同署はスリップが原因とみて調べている